

7-3 DX推進特別本部

1. DX推進特別本部の概要

(1) 経緯

令和3年7月「生産性向上推進特別本部」を発展的に改組、DXへの取り組み検討の推進組織とした。

(2) 目的

- a) 建設コンサルタントとして、建設事業におけるDX推進について検討し、受発注者協働による働き方改革や、建設事業の生産性向上、今後の街・地域づくり、会員企業の実業性向上に貢献する。
- b) 活動成果を開示・共有することにより、建設コンサルタントのプレゼンスの向上と会員企業全体のDX推進の底上げを図る。

(3) テーマ

テーマ1:受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

テーマ2:i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進(ライフサイクルマネジメントの生産性向上)

テーマ3:街・地域づくりのDX推進(エリアマネジメントに資するDX)

テーマ4:建設コンサルタント企業のDX推進

2. 主な活動の記録

(1) 受発注者協働による働き方改革に資するDX推進

令和4年度のDXテーマ1の成果を令和5年度の要望と提案における「DX推進による業務効率化の促進」に反映した。主な提案事項は次のとおりである。

- ・電子入札システム、電子契約システムの活用
- ・情報共有システム(ASP)の活用
- ・テレワークガイドライン(案)の活用

(2) i-ConstructionおよびBIM/CIMの推進

令和4年度のDXテーマ2の成果を令和5年度の要望と提案における「ライフサイクルマネジメントの生産性向上」に反映した。主な提案事項は次のとおりである。

- ・BIM/CIM設計照査シートの充実
- ・BIM/CIMポータルサイトの活用
- ・デジタル情報のサプライチェーンの構築および運用

また、国土交通省内でBIM/CIM適用業務における新たな見積もり様式が議論されている中、令和6年2月に国土交通省へ当協会から見積もり様式の提案を行った。その提案内容が令和6年度の運用に反映される見通しである。

さらに、国土交通省BIM/CIM推進委員会、東京大学工学研究科i-Constructionシステム学寄付講座協調領域検討会へ参画して議論した。

(3) 街・地域づくりのDX推進

- ・令和4年度の検討成果(エリアマネジメントに資するDX)の建設コンサルタントビジョン2025への反映を検討した。

(4) 建設コンサルタント企業のDX推進

- ・令和3年度に公開した建設コンサルタント企業におけるDX推進事例集の第二弾として令和5年度版を作成し、当協会ホームページにて公開する予定である。
- ・会員企業間の連携の仕組み(マッチングポータルサイト)の構築を検討した。

3. 次年度の活動

- ・テーマ1、テーマ2について、地方ブロック意見交換会「要望と提案」に反映するとともに、国土交通省本省との協議を推進する。
- ・テーマ3について、建設コンサルタントビジョン2025(2025年5月策定予定)に検討成果を反映する。
- ・テーマ4について、会員企業間連携の仕組み(マッチングポータルサイト)の検討を進める。

(DX推進特別本部本部長 中村 哲己)